

日本共産党 札幌市議会議員

吉岡ひろ子だより



発行元：吉岡ひろ子市政事務所
(2025年2月発行) 13号

札幌市清田区北野5条3丁目1-4
サンパールビル1階
電話011-807-8171
FAX 011-807-8172



物価高騰に苦しむ市民に負担を求めるべきではない



財政市民委員会で質問する
吉岡市議 (2024年12月9日)

札幌市は、令和7年度から、市内300カ所を超える公共施設の使用料や市税等、各種証明等、手数料の一斉値上げを行います。値上げの理由は物価高騰による経費の増加です。

区民・地区コミュニティセンター、体育施設、札幌ドームの使用料、若者支援施設の利用料、放課後児童クラブの延長利用料など、市民負担増約7億円が見込まれています。清田区でも、区民センター、里塚・美しが丘地区センター、体育館、平岡樹芸センター講堂の使用料、清田老人福祉センターの入浴料などが値上げになります。

昨年12月9日の財政市民委員会で、値上げを決める条例案のうち15件の質疑が行われ、吉岡

市有施設一斉値上げ 市民負担7億円 吉岡市議が反対討論

第4回定例会(11月28日～12月11日)が閉会。吉岡市議は、所属する財政市民委員会で、市有施設の使用料等の一斉値上げ、宿泊税の導入の是非、清田区民センター整備基本計画(案)などの重要問題について質問しました。

利用対象	チャージ上限	自己負担
70歳→75歳	7万円→4万円	5割

2026年(令和8年)以降				
チャージ額	1万円	2万円	3万円	4万円
自己負担額	5千円	1万円	1万5千円	2万円

敬老パスを廃止し、健康アプリに全面的に移行する素案に対し、市民か

ますます負担増の敬老パス修正案

市議は、区民センターの使用料の値上げについて質問。所得や施設からの距離などの違いで、影響を受けることがないよう安価で、誰もが利用しやすい施設でなければならぬと、値上げの見送りを求めました。

質疑後の討論では、「物価高騰は国の失政でもたらされたもので、くらし



全般が苦しくなっている市民に負担を求めるべきではありません」と、15件の一斉値上げに反対しました。他会派の討論はなく、日本共産党以外の賛成で可決されました。

宿泊税条例案に反対討論

札幌市宿泊税条例は、市内ホテルや旅館、民泊、カプセルホテル等の宿泊者から、5万円未満の宿泊料で200円、5万円以上で500円の宿泊税を徴収するものです。札幌市民が市内に宿泊する際も徴収されます。

吉岡市議は委員会で質問し、税金の使途が明確化されていないうえ、税の徴収義務を担う宿泊業者、関係者の理解が得られていないことを指摘。拙速な条例化は将来に禍根を残すことになる」と反対の討論を行いました。

ら反対の声が多く寄せられ、札幌市は昨年9月、新たな修正案を議会に提出しました。

75歳到達時に敬老パスが健康アプリどちらか一つを選択。一度選択すると元に戻せません。



敬老パスがアプリ1つを選択
一度変更すると元には戻せない

敬老パスを当面継続するとしていますが、5年後を目途に検証を予定しており、廃止も視野に入れたままです。

今回の修正案の問題点は、財源全体や事業費ではなく、「市民一人当たりいくらの負担」で、利用者の負担額を求め、「高

はじめて利用する方は、

市は、昨年11月末、意見交換会「市長と語ろう！敬老パス」を開きましたが、発言者は抽選で10人だけ。オープンハウスは中央区で2日間だけの開催でした。1月下旬に締め切られたパブリックコメントには、457件の意見が寄せられました。

誰もが納得して、安心して利用できる制度にするためにも時間をかけて、しっかり市民の意見を聞くことが重要です。

修正案は、第1回定例会にかげられ、採決が行われる見込みです。

清田区民センター移転 十分な説明と市民合意を



区民センターで開かれた市の説明会 (=1月24日)

清田区民センターの移転・整備基本計画(案)にあたり、札幌市は区民アンケートを昨年6月に実施。公募選ばれた区民や町内会、企業・学生などが参加するワークショップをこれまで6回開いています。

ホール・貸室が分離

昨年8月の第4回ワークショップでは、新建物にホールと図書館をつくり、にぎわいを創出するとともに、

区民センターの貸室を現在図書館がある区役所4階に設置する案が示されました。清田区子どもまつりや清田区文化祭などは、ホールと貸室が一体的に利用されており、どうして突然ホールと貸室が離されるのかという声が吉岡事務所にも多く寄せられました。

吉岡市議が委員会で質問

吉岡市議は、12月9日の財政市民委員会で質問し、

上がります。何と5倍です。

「高年齢者の通院や買い物など生活の足として、生きがいや、社会参加を促すものとして、また、敬老バス事業費は、地下鉄やバス、路面電車の公共交通を支えています。」

ひろ子コラム



「尊重し合える街に」

市の敬老パスの変更の進め方が何かおかしいと感じています。札幌市は、敬老パスを続けると、20歳以上の現役世代の負担が倍になるぞと脅すように、パブリックコメントの説明資料に

実は、敬老パスを始めた50年前と現在の市の負担は、予算比では大きな違いはありません。今の市の負担は50億円。札幌市の案ではそれを約22億円まで減らします。1万円をチャージする場合、現行では千円の負担が5千円に跳ね

市民が願うのは、世代間の違いや多様性を尊重し、誰もがつながり合える共生の街だと思います。

(2月12日記)

区民説明会の実施

1月24日、区民説明会が清田区民センターで開かれ、18人が参加しました。

区民アンケートに回答された方々の多くは、図書館を移転する案を知らずに、区民センターの既存の機能、ホール・貸室などがそのまま移転するイメージで答えたのではないかと指摘。区民説明会を実施して区民の意見をしっかりと聴くように求めました。

お困りごとは、吉岡事務所へ

【生活相談事例】

2024年8月には、真栄あおぞら公園内の樹木の剪定、公園外の縁石腐食、園内レンガ歩道の盛り上がりや、公園照明が数か月間点灯していない等の相談が寄せられました。

歩道縁石の腐食とレンガ歩道の盛り上がり、公園照明については補修され、加えて公園内の錆びた看板も交換されました。公園樹木の剪定については、枝が民有地に越境している場合に限り対応しているとの事で、この度は見送られました。

真栄あおぞら公園内のレンガ歩道・縁石の補修要望が実現



錆びた看板



改修後の看板

弁護士による無料法律相談

毎月 第2水曜日 午後2時より

※ ご予約ください

次回は 3月12日(水)・4月9日(水)

吉岡ひろ子事務所

TEL:011-807-8171

FAX:011-807-8172

※生活相談は、随時受け付けています
お気軽にご相談ください

